

種名	キンミズヒキ <u>Agrimonia pilosa</u> var. <u>japonica</u> 					
	分類	被子植物双子葉植物綱バラ科	俗称		生活型	多年草
分布	北海道、本州、四国、九州、南千島					
形態	根茎は肥厚する。茎は高さ30～80cmになり、分枝する。葉は奇数羽状複葉で、小葉は5～9個、小型の付属小葉が間につく。頂部の3小葉は大型で、ほぼ同大。下面は淡色となり、粗い鋸歯がある。					
類似種						
生息場所	日当たりの良い草原、土手、田畑の畦、林縁、日陰の竹林、道沿いに生える。					
繁殖	花期は7～10月。穂状花序となり、茎頭につき、径6～11mm、黄色。花弁は5枚。雄ずいは8～15個。					
他生物との関係						
配慮のポイント						
引用文献:『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物Ⅰ 双子葉植物』を改変						